

**社会資本整備総合計画
古町地区都市再生整備計画**

平成23年3月

新潟県新潟市

都市再生整備計画(第12回変更)

ふるまち
古町地区

にいがた にいがたし
新潟県 新潟市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	新潟市	地区名	古町地区	面積	353 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

大目標：地区内の回遊性・快適性・利便性を高め、湊町にいがたの歴史と最先端の文化・情報を同時に楽しむことが可能な、人々が集い賑わう交流空間の創出
 目標1：商店街のバリアフリー化や都市サインの整備を進め、訪れた人の全てが、快適に回遊できる空間を創出する
 目標2：歴史、文化拠点の整備とネットワーク化を進め、湊町にいがたの歴史を感じることで創出する
 目標3：地区内で最先端の文化に加え、多様な情報、サービスを享受でき、来街者の満足感を高めることで、人々が再び訪れたい空間を創出する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、信濃川河口部の左岸地域に位置し、江戸期より北前船の寄港地として栄え、開港時には横浜や長崎と並び開港五港に指定された湊町としての歴史を持つ。現在は埋められてしまったものの、昭和30年頃までは、町の縦横に堀割が巡らされ、舟運による経済活動も活発であった。そのため、今も旧廻船問屋の商家やその街並みが町中に残り、当時の面影を偲ぶことができる地区となっている。
 また同時に、古くは奉行所や税関などの官公庁や各地から集まる米穀の取引所から発展した証券取引所も置かれたように、本市の経済、情報・文化、交流の中心的拠点として栄えてきた地区でもあり、現在でも、市民アンケートでは「新潟市の顔」である地区の第1位となる地区である。
 しかし、昨今の都市化の進展に伴い歴史的な風景は影を潜め、また全国的な中心市街地の低迷に合わせ、本地区も空洞化が進んでおり、5年前に比べ歩行者通行量が38%減少するなど、街なかの賑わいが低下し、このままでは都市の顔を失いかねない状況にある。
 こうしたことから、本市では平成11年度に「新潟市中心市街地活性化基本計画」を策定し、中心市街地での移動利便性の向上を図るとともに、街なかの快適性の向上や多様な憩い・娯楽機会を提供、さらに歴史・文化資源の活用により回遊機会を創出すること基本方針に、同地区の活性化に取り組んできたところである。
 道路等の基盤整備に関しては、古町通商店街や本町通商店街における路面改良事業及びアーケード改修事業、西堀通や東堀通における電線類地中化事業、古町商店街内における水のモニュメント設置事業などの整備を進めてきたが、依然路面老朽化が著しい路線やバリアフリー化されていない路線も多く残っている。また、歴史的な景観等に配慮した空間整備に関しては、一部老舗料亭前の路面を石畳化したり、街灯をレトロ調にするなどの工夫を行ってきたが、地区全体の取り組みとして十分とは言いがたく、今後さらに進めていかなければならない状況である。
 また、賑わい創出面に関しては、商店街イベントへの補助やチャレンジショップ等の支援施策を実施してきたものの、一時的な賑わいに留まる傾向があり、常時、街全体を活性化するには至っていない。

課題

- 訪れた人の誰もが回遊することに負担を感じず、また回遊することが楽しい空間となるための基盤整備を推進する必要がある。
- 湊町から続くまちの歴史や文化を感じられる拠点整備を進めながら、同時に、そうした拠点と拠点を結ぶネットワーク化の整備を進め、面的に魅力ある空間作りを進める必要がある。
- 古町商店街を中心とする商業地区においては、最新のファッションや文化情報だけでなく、行政相談、観光案内など様々な情報を常時享受でき、訪れた人が得た気分になれる空間作りを進める必要がある。

将来ビジョン(中長期)

本地区における上位計画上の位置付けは次のとおり。
 新潟市第4次総合計画(H7～H19)：「都心機能を強化し、歴史と伝統を活かした魅力と活力ある商業業務地区」として位置付けている。
 新潟市中心市街地活性化基本計画(H12.3策定)：「歴史・文化を活かした魅力の向上」を活性化の方向として位置付けている。
 新潟市古町周辺地区まちづくり基本計画(H18～H27)：「街並みと賑わいが織り成す歴史模様、何度でも訪れたい湊町 ふるまち」を基本コンセプトとしている。
 新潟市都市計画マスタープラン(H7～H27)：「湊町の歴史と伝統を受け継ぎ、都心の賑わいと人情味があふれるまち」として位置づけている。
 新潟市中心市街地活性化基本計画(H20.3認定)：長期的に目指すまちづくりの方向を「いつまでもみなとまちの歴史や文化を感じられるまち」「ぶらぶらとまち歩きを楽しめるまち」として位置づけている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
商店街歩行者通行量	人/日	古町商店街内4カ所(上古町商店街、古町5番町、古町6番町、古町7番町)における毎年の歩行者通行量	賑わい度、回遊性を把握する指標として捉え、同地区を訪れる来街者数が約5%増加することを目標とする	38,892	H17	H22
歴史・文化施設入館者数	人/年	新潟市歴史博物館、旧小澤家住宅、旧齋藤家夏の別邸への一年あたりの来館者数	歴史、文化への関心度を把握する指標と捉え、地区内の代表的な歴史・文化施設(公共)への入館者数が約10%増加することを目標とする	170,458	H17	H22
交流系施設の利用者数	人/年	新潟市中央公民館及び(仮)街なか交流センターの一年あたりの利用者数	街なかにおける交流空間及び行政サービス窓口の利用頻度を、利便性を把握する指標と捉え、新潟市中央公民館及び(仮)街なか交流センターの利用者数を約10%増加させることを目標とする	122,186	H17	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○快適で、回遊性の高いまちを目指します 街路整備やアーケード改修、案内板を整備することで、人々が快適に滞在し、移動することに負担を感じないまち、歩いて楽しい回遊性の高いまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業(基幹事業:学校町通旭町通線、一番堀通町東堀通線、中央3-82号線、古町通柳島町線、中央2-101号線、八千代幸西線、中央2-141号線、中央2-142号線、白山停車場線、西堀通線、一番堀通入船線1号) ・高質空間形成施設(基幹事業:遊歩道、階段) ・地域生活基盤施設(基幹事業:情報板(観光案内板)、情報板(市役所周辺情報案内板)、地域情報案内施設) ・まちづくり活動推進事業(提案事業:古町・朱鷺メッセバス運行実験事業) ・地域創造支援支援事業(提案事業:船着場整備) ・戦略的中心市街地商業等活性化支援事業(関連事業:アーケード整備) ・地域創造支援事業(提案事業:下水道中央3-82号線) ・地域創造支援事業(提案事業:下水道中央3-81号線) ・高質空間形成施設(基幹事業:一番堀通町東堀通線)
<p>○湊町の歴史や文化を感じられるまちを目指します 下町地区に残る町家や街並み、西大畑地区の旧官公庁役宅などの歴史的な資源や文化施設を整備・活用し、また、これらをネットワーク化させることで、湊町から続くまちの歴史や文化を感じられるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(基幹事業:情報板(文化財)) ・地域生活基盤施設(基幹事業:情報板(街なかお宝解説板)) ・既存建造物活用事業(基幹事業:旧小澤家住宅整備事業) ・既存建造物活用事業(基幹事業:旧斎藤家夏の別邸整備事業) ・事業活用調査(提案事業:湊まち新潟まちづくりデザイン策定事業) ・事業活用調査(提案事業:水の街そぞろ歩き交通シミュレーション調査) ・まちづくり活動推進事業(提案事業:観光ボランティア推進事業) ・高質空間形成施設(基幹事業:旧日和山整備事業) ・事業活用調査(提案事業:旧小澤家住宅活用ワークショップ) ・事業活用調査(提案事業:歴史的建造物活用調査) ・事業活用調査(提案事業:街なかお宝探検マップ作成) ・事業活用調査(提案事業:湊まち新潟賑わい拠点整備検討調査)
<p>○賑わいにあふれ、訪れた人にとって便利で楽しいまちを目指します 児童相談所、まちなか行政サービスコーナーなどの行政機関をまちなかに開設するとともに、商店街内で誰もが気軽に交流できる施設を設置し、訪れた人にとって利便性の高い、楽しいまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存建造物活用事業(基幹事業:街なか交流センター整備事業) ・地域創造支援事業(提案事業:街なか行政サービス整備事業) ・地域創造支援事業(提案事業:児童相談所等開設事業) ・地域創造支援事業(提案事業:政令市移行記念 市民祝祭)

そ(案)
<補足>

- 既存建造物活用事業:旧小澤家住宅整備活用事業について
 - ・施設に関する市民の関心度を高めるため、整備段階からの施設内部の公開を予定している。
 - ・今後育成する市民観光ボランティアを活用し、単に観るだけの施設ではなく、地域住民に直接まちの歴史や見所を聞くこともできる施設としての利用を検討している。
- 西堀通り、東堀通り(一番堀通入船線1号)の一方通行解除について
 - ・本地区の主要道路である西堀通り、東堀通りについては約40年前から一方通行となっており、目的地まで大きく迂回しなければならぬなど、来街者にとって不便なものであった。
 - ・平成20年3月に万代島ルート線(国道7号)が東堀通りに接続することに伴い、地区内の交通環境が大きく変わることになった。
 - ・そこで、本地区内の回遊性向上及び本地区へのアクセス向上のため、両路線について一方通行を解除することになった。

交付対象事業等一覧表

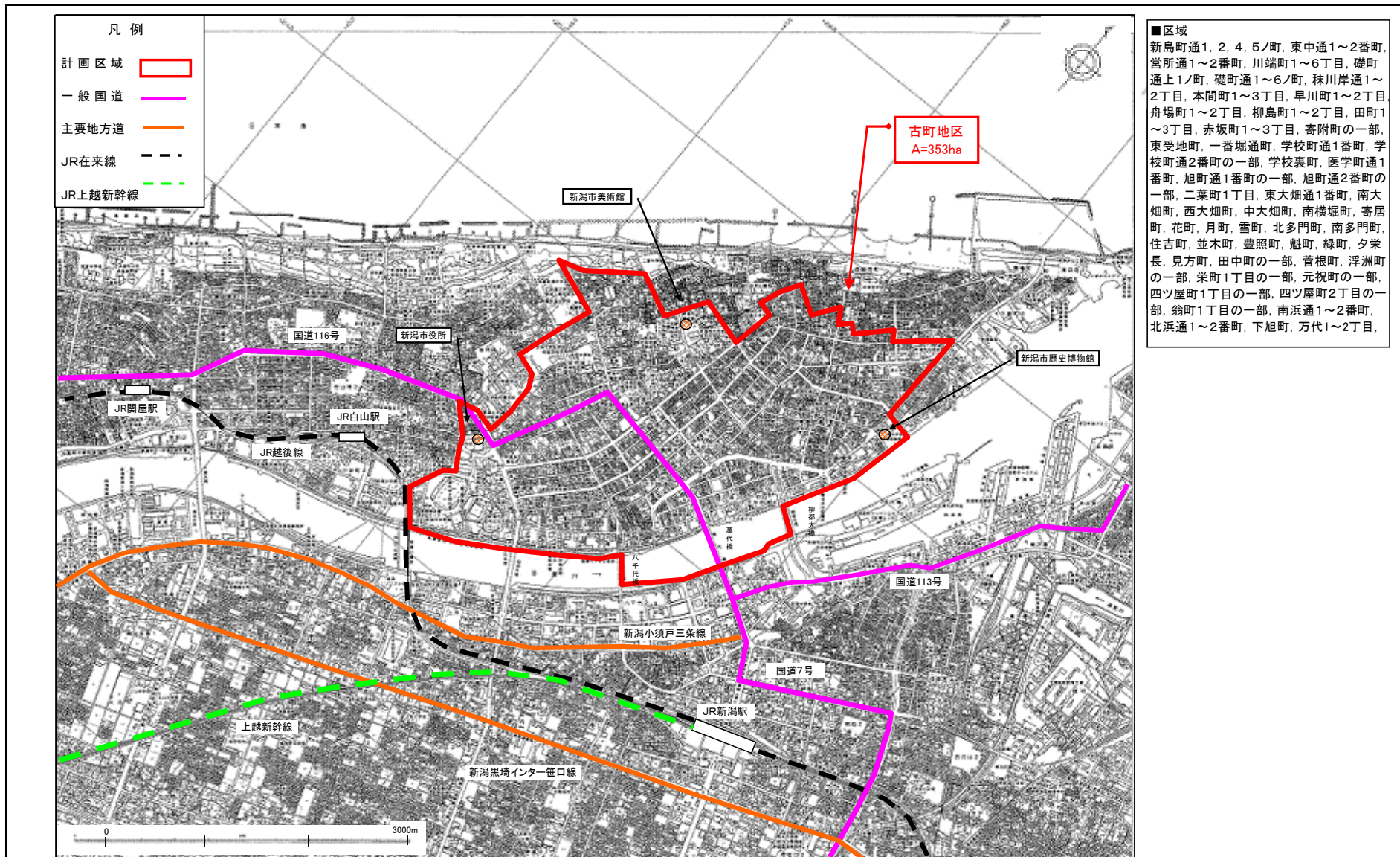
交付対象事業費	2,848	交付限度額	1,140	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路	学校町通旭町通線	新潟市	直	W=16m, L=90m	H17	H18	H18	H18	33	33	33		33	
	一番堀通町東堀通線	新潟市	直	W=13m, L=870m	H18	H22	H18	H22	293	293	293		293	
	中央3-82号線	新潟市	直	W=4m, L=300m	H18	H20	H18	H20	35	35	35		35	
	古町通柳島町線	新潟市	直	W=25m, L=600m	H20	H21	H20	H21	36	36	36		36	
	中央2-101号線	新潟市	直	W=3m, L=64m	H18	H18	H18	H18	10	10	10		10	
	八千代幸西線	新潟市	直	W=3m, L=20m	H19	H21	H19	H21	225	225	225		225	
	白山停車場線、榎谷小路青山線2号	新潟市	直	W=3m, L=121m	H19	H24	H19	H19	48	3	3		3	
	中央2-141, 中央2-142号線	新潟市	直	W=3m, L=122m	H19	H20	H19	H20	5	5	5		6	
	西堀通線、一番堀通入船線1号	新潟市	直	道路標識10基	H19	H20	H19	H20	68	68	68		68	
	川端町入船線	新潟市	直	W=16m, L=550m	H18	H22	H18	H22	714	583	583		583	
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—		—										
地域生活基盤施設		—	新潟市	直	—	H18	H22	H18	H22	64	64	64		64
高質空間形成施設		—	新潟市	直	—	H18	H21	H18	H21	32	32	32		32
高次都市施設		—		—										
既存建造物活用事業		—	新潟市	直	—	H18	H24	H18	H22	1,383	1,075	1,075		1,075
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,946	2,462	2,462	0	2,463

都市再生整備計画の区域

古町地区(新潟県新潟市)	面積 353 ha	区域 古町通1～12番町、古町通13番町の一部、西堀通1～11番町、西堀前通1～11番町、東堀通1～13番町、東堀前通1～11番町、上大川前通1～12番町、下大川前通1～7町、本町通1～14番町、湊町1～4町、西湊町通1～4町、東湊町通1～4町、横七番町通1～5丁目。
--------------	--------------	---



古町地区(新潟県新潟市) 整備方針概要図

目標	大目標:地区内の回遊性・快適性・利便性を高め、湊町にいがたの歴史と最先端の文化・情報を同時に楽しむことが可能な、人々が集い賑わう交流空間の創出	代表的な指標	商店街歩行者通行量 (人/日)	38,892 (H17年度)	→	40,800 (H22年度)
			歴史・文化施設入館者数 (人/年)	170,458 (H17年度)	→	187,500 (H22年度)
			交流系施設の利用者数 (人/年)	122,186 (H17年度)	→	134,400 (H22年度)

